

川西市公園管理台帳システム構築業務委託に係る公募型プロポーザル
審査結果について

川西市公園管理台帳システム構築業務委託に係る事業者の選定について、川西市公園管理台帳システム構築業務委託に関するプロポーザル審査委員会による審査結果及び審査講評を受け、下記のとおり公表します。

令和4年8月25日

川西市長 越田 謙治郎

記

1. 優先交渉事業者

アジア航測株式会社 神戸支店

2. 参加事業者

No.	事業者名
1	アジア航測株式会社 神戸支店
2	A社

川西市公園管理台帳システム構築業務委託に係る
公募型プロポーザル

審 査 講 評

令和4年8月25日

川西市公園管理台帳システム構築業務委託に関する
プロポーザル審査委員会

川西市公園管理台帳システム構築業務委託に関するプロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、川西市公園管理台帳システム構築業務委託に関して、採点基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和4年8月25日

川西市公園管理台帳システム構築業務委託に関するプロポーザル審査委員会
委員長 小西 裕之

1. 事業者の募集と審査委員会の会議の経緯

(1) 業務概要

業務の目的

本業務は、本市が管理する公園施設情報を適切に住民へ迅速かつ正確に報告できるように公園管理台帳システムを構築し、住民サービスを向上することを目的とする。

契約期間

契約締結日から令和5年3月22日まで

(2) 募集のスケジュール

事業者の募集及び選定にあたってのスケジュールは、概ね次のとおりである。

日 程	内 容
令和4年7月15日	公募開始、実施要領等の公表
令和4年7月27日	参加申込書受付期限、質問受付期限
令和4年8月 3日	質問の回答
令和4年8月10日	企画提案書受付期限
令和4年8月19日	プレゼンテーション・ヒアリングの実施
令和4年8月25日	優先交渉事業者決定・公表
令和4年8月末	契約締結

(3) 審査委員会の構成

事業者の選定にあたり川西市公園管理台帳システム構築業務委託に関するプロポーザル審査委員会設置要綱に基づき、審査委員会を設置した。

審査委員会の構成は、次のとおりである。

役職	氏名	所属等
委員長	小西 裕之	土木部 副部長
委員	片桐 幸臣	総合政策部 ICT推進課長
委員	岸本 匡史	総合政策部 参画協働課長
委員	中西 成明	土木部 道路管理課長
委員	足立 拓也	土木部 公園緑地課長

(4) 審査委員会の会議開催と経緯

審査委員会	開催日	内容
第1回	令和4年8月19日	優先交渉事業者選定会議（プレゼンテーション・ヒアリングについての意見交換及び採点、優先交渉事業者の選定）

2. 提案内容に関する審査

(1) プロポーザル参加事業者

参加申込書及び企画提案書の提出のあった事業者(以下、「参加事業者」という。)は、次の2者であった。

No.	事業者名
1	アジア航測株式会社 神戸支店
2	A社

(2) 見積価格の確認

令和4年8月10日期限の企画提案書提出において、参加事業者の見積価格が、いずれも提案上限額以下であることを確認した。

(3) 総合点の算定による優先交渉事業者の選定

審査委員会は、総合点の最も高かったアジア航測株式会社 神戸支店を優先交渉事業者として選定した。

評価一覧表

順位	事業者名	総合点(300点)
1位	アジア航測株式会社 神戸支店	253.6
2位	A社	244.2

(4) 審査委員会による審査の流れ

審査委員会は、参加事業者によるプレゼンテーション・ヒアリングを令和4年8月19日に実施した。

プレゼンテーションでは、企画提案書による提案内容を補完する説明を受け、市が求める業務支援の実施体制、方針、実施手法、実施スケジュール等の評価を行った。ヒアリングでは、企画提案書の内容及びプレゼンテーションでの提案について、上記の内容に加えて疑問点や本市の認識に齟齬がないか、詳細について確認を行った。

各委員は、「企画提案書」、「プレゼンテーション」、「ヒアリング」を総合的に評価し、本市が求める充実した機能が備わっているかを、慎重かつ厳正に審査した。

見積価格

参加事業者による見積価格（消費税及び地方消費税を含む）は、次のとおりである。

No.	事業者名	見積価格（税込）
1	アジア航測株式会社 神戸支店	¥ 29,359,000
2	A 社	¥ 30,140,000

提案上限額 42,068,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

3 . 審査委員による審査結果（講評）

プロポーザルに参加した2者の提案内容は、いずれも本市の仕様書記載の内容を満たしており、独自の追加提案を含めた高水準で意欲的な提案がなされたことは、本市にとって大変意義があった。

2者の提案は、どちらも特徴のある内容であったが、優先交渉事業者の提案は、本業務範囲内に、公園施設情報を公開型GISでの情報配信や市民投稿システムの構築を提案しており、審査委員会としては、より市民サービス向上につながる提案を高く評価した。

また、それら全体のスケジュール管理が具体的かつ実効性のあるものとして高く評価した。

もう一方の事業者の提案については、企画提案書にあった方向性及びコンセプトは本市の考え方と合致しており、また独自の追加提案についても本市の課題を捉えたものであったが、優先交渉事業者と比較してタイトなスケジュールであることに対して懸念が示された。